

2022年度事業計画

2022年度事業は各事業の一層の充実を計画している。

研究助成事業については従前からの助成に加え、これまでの研究実績を評価し特に今後の研究の発展を期待する研究者に対する特別助成を行う。

講演会については従前どおりとする。

また、留学生支援事業については前年度より1名増の7名に奨学金を支給することとするが、これまでに支援した留学生のフォローアップ体制の充実を図ると共に新型コロナウイルス感染症の水際対策による私費留学生の減少という状況の中で、応募者数の確保に向け募集対象校、募集期間等の見直しを行う。

これらに加えて、人道支援・災害復興支援等のための寄付を継続する。

1. 研究助成事業

2022年度は、1月26日開催の第16回研究助成事業選考委員会で候補者として選定された自然科学系10件、人文社会科学系2件、その他研究補助3件の計15件、及び特別助成2件を加えた17件に対する助成を行う。

2022年度助成候補者は以下の者とする。

① 研究助成 12件

自然科学系

	氏名	機関名	研究テーマ
1	おぐり やすお 小栗 靖生	京都大学大学院農学研究科 食品生物科学専攻栄養化学分野 助教	加齢に伴う熱産生脂肪の減少を防ぐ食品・栄養因子の探索と応用
2	くろとび ともか 黒飛 知香	広島修道大学健康科学部 健康栄養学科 助教	異なる穀類を用いた粥の口腔内知覚・嚥下特性の数値化による嚥下困難者向け粥の最適化に関する研究
3	こが みのり 古賀 農人	防衛医科大学校 精神科学講座 助教	高脂肪食摂取による抑うつ症状や不安症状は肥満を介して発症するのか？

4	ごとう まさお 後藤 真生	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 食品健康機能研究領域健康・感覚機能グループ 上級研究員	小麦ふすまの摂食が生体防御機能に及ぼす影響の解析
5	たかはし まさき 高橋 将記	東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 准教授	昼食欠食が糖代謝機能低下を引き起こすメカニズム解明
6	まつむら しげのぶ 松村 成暢	大阪府立大学総合リハビリテーション学研究科栄養療法学専攻 准教授	ストレスにより肥満する機構の解明とこれを防ぐ方法の探索
7	まぶち りょうた 馬渕 良太	広島県公立大学法人 県立広島大学 生物資源科学部 准教授	健常被験者の血中代謝成分プロファイルと食事摂取履歴の相関性解析による新規栄養評価指標の構築
8	みた ゆういちろう 三田 雄一郎	同志社大学生命医科学部 医生命システム学科システム学科研究室 助教	セレン含有タンパク質 Selenoprotein P を減少させることによって2型糖尿病を改善する食品由来成分の探索
9	むかい りえ 向井 理恵	徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 准教授	食品成分のヒト血清アルブミン結合特性が生理活性評価に与える影響の解明
10	よしば さとこ 吉場 聡子	国立医薬品食品衛生研究所 生化学部 主任研究官	新たなゲノム解析技術を用いた未同定遺伝子組換え食品の特定

人文社会科学系

	氏名	機関名	研究テーマ
1	かるべ まさる 軽部 大	一橋大学大学院経営管理研究科 イノベーション研究センター 教授	カテゴリ創造としてのイノベーション：糖質オフ・ゼロ市場形成メカニズムの理論的・実証的証明
2	とみなが きょうこ 富永 京子	立命館大学産業社会学部 准教授	グローバル化による異文化相互理解の契機としての「食」ー移動と越境を通じたイノベーション

② 特別助成

	氏名	機関名	研究テーマ
1	ささき つとむ 佐々木 努	京都大学大学院農学研究科 食品生物学専攻栄養化学分野 教授	生活習慣病の撲滅に向けた食行動 と栄養研究
2	きしもと あつお 岸本 充生	大阪大学 社会技術共創研究センター センター長	「リスクに基づくアプローチ (Risk based approach)」の分野 間比較

③ その他研究補助 3件

	代表者氏名	機関名	内容
1	ささき さとし 佐々木 敏	東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野 教授	栄養疫学研究ならびに食事指導・ 食育等への利用を目的とした汎用 型食事調査ならびに食事指導シス テム（簡易型自記式食事歴法質問 票（BDHQ）システム）の開発・利 用サービス・利用者教育等の推進 に関する研究
2	つつみ のぶひろ 堤 伸 浩	東京大学大学院農学生命科学研 究科 研究科長・教授	持続可能な社会の実現を目指す産 学官民連携型農学研究・教育体制 の再構築
3	みうら ひろき 三浦 浩喜	福島大学 学長	農学の特色ある教育研究による福 島の復興と食農人材の養成

2. 講演会

第30回「食と健康」講演会を9月6日（火）午後 クラブ関東または霞山会館で
開催。

講演会内容は講演1題と研究成果発表1～2名とする。

3. 留学生支援事業

2022年度の留学生支援事業は、下記の6名及び今後追加募集する1名の計7名にそれぞれ奨学金100万円を支給する。

- ① アイヌン ジャリヤさん (女性、21歳 出身国：インドネシア)
早稲田大学社会科学部社会科学科 (英語学位プログラム) 3年在籍
- ② ナー エアジェさん (女性、22歳、出身国：マレーシア)
立教大学異文化コミュニケーション学部異文化コミュニケーション学科3年在籍
- ③ ロバート クラフトさん (男性、31歳、出身国：ドイツ)
筑波大学大学院人文社会科学研究科歴史人類学専攻 (一貫博士課程) 5年在籍
- ④ リン クララ イザベラ アンさん (女性、25歳、出身国：カナダ)
東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士後期課程1年在籍
- ⑤ チョウラガイ スザンさん (男性 26歳 ネパール)
東京農業大学国際食糧情報学部国際バイオビジネス学科1年在籍
- ⑥ ナータスビヤ ビンティ ユソフさん (女性 31歳 マレーシア)
明治大学大学院農学研究科農学専攻

4. その他

人道支援・災害復興支援寄付については、引き続き「国境なき医師団日本」及び「東日本大震災ふくしま子ども寄付金」に対する各300千円の寄付を行う。

また、2022年度もフードコミュニケーション懇話会がフードコミュニケーション講演会を2回開催する予定であり、開催費用を支援する。